

平成 29 年度第 2 回 西脇市地域公共交通会議 会議録

【日 時】平成 30 年 2 月 28 日（水）14:30～16:30

【場 所】西脇市民会館 中ホール

【出席者】委員：21 名

オブザーバー：2 名

事務局：3 名

【次 第】

開会

1. あいさつ

2. 議事

(1) 西脇市コミュニティバスのルート・ダイヤの改正について

(2) 西脇市地域公共交通網形成計画の策定について

ア 検討経過

イ 西脇市の交通を取り巻く現状について

ウ アンケート調査結果概要について

エ 西脇市における公共交通のあり方について

(3) 神姫グリーンバス加美中線のダイヤ改正について

(4) 多可町コミュニティバス「のぎくバス」のルート・ダイヤの改正について

3. 意見交換

4. 次回日程

閉会

【会議の概要】

○ 出席者数の確認

- ・委員 21 名出席、西脇市地域公共交通会議規約第 2 条 7 項による定足数を満たしているため、この会議は成立。

1. あいさつ

ご多忙の中お集まり頂き、お礼を申しあげる。本日の公共交通会議においては、つくしバスのルート、ダイヤ改正の他、現在、計画策定を委託し、分科会を設置して検討を進めている今後の西脇市の公共交通網の再編に向けた西脇市地域公共交通網形成計画の検討状況等についてご説明申し上げ、協議を頂く予定としている。この会議をより有意義なものとし、本市公共交通の活性に繋がるよう、是非忌憚のないご意見を頂くようお願い申しあげる。

2. 議事

(1) 西脇市コミュニティバスのルート・ダイヤの改正について

(事務局より資料説明)

- ・意見・質問なし
- ・この内容で承認を頂く。(会長)

(2) 西脇市地域公共交通網形成計画の策定について

ア 検討経過

イ 西脇市の交通を取り巻く現状について

ウ アンケート調査結果概要について

エ 西脇市における公共交通のあり方について

(事務局より資料説明)

● デマンド交通について

- ・資料3p.2 [図 地域別高齢化率] で、市全域に高齢化率の高い地区が広がっており、車を運転できない、100～200m程度しか歩くのが困難な一人住まいの高齢者が市全域に拡散していることが最も重要な問題である。西脇市では、昨年タクシー事業者が1社撤退しており、衰退している状況にある中で、5年先、10年先を考えると、やはりデマンド型の交通を形成していく必要があると思う。例えば京丹後市では、ウーバーのシステムを活用して過疎地の対応がされている。(委員)
- ・市では京丹後市に視察に行き、地元の方にご意見を聞いたが、京丹後市はタクシー会社が全て撤退した中でウーバーのシステムを活用した配車をされている。ただ、高齢化が進んでおり、高齢者はスマホが使いづらく、なかなか利用が進まないということも一部では聞いている。資料にはタクシー利用者が減少していることも示しているが、タクシー会社ともうまく共存しながら事業を進めたいと思っている。来年度、事業の詳細について、研究しながら検討していきたいと思っている。(事務局)
- ・資料5p.16 [図 高齢者アンケートの主な自由意見]の「既存の公共交通以外の輸送方法」の内訳のグラフで、“小型化し小回りのきく運行”“乗合化”“デマンド方式”“料金や乗降場等バスとタクシーの中間の輸送方法”等が挙げられているが、これは全てデマンド型交通ではないのか。デマンド型交通とは具体的にどのようなものなのか、説明して頂きたい。(委員)
- ・今現在運行しているバスは、バス停も決まっいて、決まった時間に決まったルートを走る定時定路線型交通である。それに対して、デマンド型交通は予約に応じて走るバス、またはタクシーということになるが、いろいろな種類があり、路線が決まっいて、そこを予約があつた時だけ走るタイプや、丹波市のような、家まで迎えに来てくれて、行き先は旧町単位の病院等の公共施設に決まっいてるタイプ等がある。また各地域のごみステーションを集合場所としているところ等もある。西脇市ではどのタイプを導入するかということは、運行事業者と詳細を詰めていかなければいけないが、アンケート結果

も含めて西脇市の現状を踏まえると、予約に応じて乗りたいところを繋いでいく交通手段が良いのではないかとということで、デマンド型交通の導入を提案させて頂いた。(事務局)

- ・行きたいところに時間のロスがないルートで、すぐに行ける交通があれば理想だと思うが、それはデマンド型ではないのか。(委員)
- ・人それぞれ買い物先や病院でも行きたいところが違う。また、自分の希望する時間にどこにでも行ければ良いと思うが、それではタクシーと同じになる。タクシーとは別に同じものを低料金で行うとタクシーの領域を侵してしまうことになり、西脇市内のタクシー事業に影響が出てしまう。タクシーはタクシーとしての重要な役割を担っているので、タクシーと共存でき、かつ今運行している定時定路線のバスよりも利用者の需要に対応出来る交通を考えている。行き先については、ある程度需要の多い病院やスーパー等に指定するというイメージは持っているが、迎えに来てもらうところは自宅や集合場所等、どうしていくかについては今後の調整になるが、向かっていく方向としては、今のバスが利用しづらい人に出来るだけ低料金で使いやすい交通を作りたいということである。(事務局)

●地区との連携について

- ・津万地区の「活き生き TUMA 協議会」では、2年間、地区のあり方を検討し、特にこの1年間はコーディネーターを入れて地区の問題点を洗い出し、交通の問題についてもどう利便性を向上させるかについて検討してきた。その中で津万地区で自主運行しようという話し合いをし、踏み込んで口吉川まで地域でバスを運行する際のやり方や苦労等について話も聞きに行っている。この地域公共交通会議では、これまでデマンド型交通についての話はなかったが、今回、初めてデマンド型交通の話が出てきた。地区の協議会として、地区を強くしていこうとしている中で、もう少し、市と地区の風通しを良くし、歩調を合わせてやっていかなければ、地区でのこれまでの活動は何だったのかということになる。市の役割、地区の役割を明確にしていく必要があると思う。(委員)
- ・今年度、来年度で地域公共交通についての計画を立てさせて頂く。今年度末には方向性を出す予定だということは、5月のこの会議でも申し上げていた。市としては、今回、アンケート調査を実施し、3年前のアンケート結果と比較しても、デマンド型のような交通を希望する意見が多いことを真摯に受け止め、デマンド型交通を導入していくのが良いのではないかと考えた次第である。芳田地区でも地域で運行を考えているという話を聞いており、各地区の区長と連携を図りながら、今後は進めていきたいと思う。(事務局)
- ・比延地区でも公共交通について検討してきた。公共交通を考える上で、運転手の確保が一番難しいという問題に行き当たるが、先程、現在営業しているタクシー会社にお問い合わせするデマンド型方式が提案され、そういうやり方があるということが分かった。この地域公共交通会議は年2回程度の開催であるが、地区で公共交通について考えているところもあり、もっと細かな会議を地区別にやって頂ければと思う。大変だとは思いますが、地区の意見を少しでも吸い上げてもらう方が良いと思うので、よろしくお願ひしたい。(委

員)

- ・来年度、詳細については、地域とも連携を取りながら検討していきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。(事務局)
- ・市としては、今後の公共交通として最もよい方法がデマンド型交通ではないかということで、今後中身を精査していきたいという思いである。本日、頂いた沢山のご意見を活かして検討を進めるように事務局にお願ひして、この方針については承認を頂きたいがよろしいか。(会長)
- ・意見・質問なし
- ・この内容で承認を頂く。事務局には、引き続き、この方針に沿って計画策定を進めていくようお願い申しあげる。(会長)

(3) 神姫グリーンバス加美中線のダイヤ改正について

(神姫グリーンバスより資料説明)

- ・意見・質問なし
- ・この内容で承認を頂く。(会長)

(4) 多可町コミュニティバス「のぎくバス」のルート・ダイヤの改正について

(多可町より資料説明)

- ・意見・質問なし
- ・この内容で承認を頂く。(会長)

4. 意見交換

- 神姫バス大阪線・三宮線のダイヤ改正についての情報提供

(神姫バスより説明)

- ・意見・質問なし

5. 次回日程

- ・6月頃に平成30年度第1回の地域公共交通会議を開催させて頂きたいと思っている。来年度は、現在検討している地域公共交通網形成計画の策定の仕上げの年度となるので、引き続きご審議賜りたいと思うので、よろしくお願ひしたい。会議の日程は決まり次第、書面でご案内をさせて頂く。(事務局)